

農業委員会だより

*** 育てよう、農業後継者!! ***



不耕作農地解消事業を実施しました！

不耕作農地解消事業として新たにサツマイモの栽培に着手しました。今後の農業委員会主催のイベント等で収穫物や農地を活用していく予定です。

今年の夏も猛暑や残暑が予想されます。熱中症にご注意ください！

農作業中に熱中症になる人が増えています。熱中症は正しい知識を身に着けることで適切に予防することが可能です。

予防のポイント

- 暑さを避ける
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しの良い場所で作業を
- こまめな休憩と水分補給
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給
- 単独作業は避ける
複数名で作業を行う。時間をきめて連絡を取り合う
- 熱中症対策アイテムの活用
帽子や速乾性の衣服を借用、空調服や送風機の活用を！

熱中症が疑われる場合には

- 作業を中断
代表的な症状：汗をかかない、体があつい、めまい、吐き気、頭痛、倦怠感、判断力低下
- 応急処置
涼しい環境に避難、衣服を緩め体を冷やす、水分や塩分を補給
- 病院へ
応急処置をしても症状が改善しない場合は医療機関で診療を受けましょう！！

農地管理パトロールの実施について

農業委員会では、パトロールを年に2回実施し、農地の適正管理をお願いしています。雑草等で適正管理ができていないと近隣の土地所有者の迷惑になるばかりか、不法投棄の原因にもなります。農地の適正管理の徹底をお願いします。

※前年まで6月と8月に実施していましたが、猛暑により夏季の農作業が困難になることが予想されます。そのため、今年は6月と10月にパトロールを実施します。



瑞穂町スマート農業・環境負荷軽減推進事業補助金

省力化、効率化および環境と調和のとれた地域農業の持続的な発展を目指すことを目的に、スマート農業や環境負荷の軽減に取り組む農家を支援するため、補助事業を実施します。

対象の方

- (1)町の区域内に住所を有する認定農業者(農業法人を含む)および認定新規就農者
- (2)町の区域内に住所を有する農産物販売金額年間50万円以上の販売農家

事業内容に応じて最大50万円の補助を受けることが可能です！

※申請期限や上限額は事業等により異なります。詳しくは二次元コードまたは、お近くの農業委員へお問い合わせください。



捕獲器を貸し出しています！

農業者の方に、ハクビシン・アライグマ等を捕獲する箱ワナの貸出しをしています。捕獲後の回収も行います。詳しくは瑞穂町産業経済課農政係までご連絡ください。(令和6年度の畑での捕獲実績は計11頭でした。)

費用：無料
貸出期間：2週間
お問合せ：042-557-7630
(瑞穂町産業経済課農政係)
※貸出時に借用願へのご記入をお願いしています。



有機農業に取り組んでみよう！

堆肥等を使って化学肥料を減らすと補助事業が受けられます！

都内に住所を有し、都内の圃場にて生産した農産物を販売し、かつ令和7年度中に土壌診断を実施する農業者が対象です。

補助率
2 / 3

※一部上限あり

申請期限
9月末まで

補助対象物品

- ① 堆肥、動物の排泄物及び有機質肥料
- ② 緑肥の種子
- ③ 緑肥の栽培及び鋤き込むための機械類
- ④ 堆肥散布機

※申請前に購入したものは対象外です。



見積の作成・申請の支援もいたします！

詳細については、JAにしたま営農経済部にご相談ください。TEL 042-554-7362

JAにしたま
からお知らせ

『第66回東京都農業委員会・ 農業者大会』受賞者の紹介

令和7年2月20日に昭島市のFOSTERホールにおいて、今年で第66回を迎える東京都農業委員会・農業者大会が開催されました。受賞された方は次のとおりです。瑞穂町農業委員会より、心よりお祝い申し上げます。



〔農業功労者表彰〕 小野 芳久さん



小野氏は高校卒業後に家業の酪農に従事し、肥育を行いつつ、小麦や山芋を作り始めました。その後、本格的に農業に従事するようになり、現在はブロッコリー、キャベツ、タケノコなどを栽培し年間を通して野菜の出荷をしています。その一方、瑞穂町消防団団長や町内会長などを歴任し、現在は瑞穂町農畜産物直売所の副会長や瑞穂町寿クラブ連合会（老人会）会長等の役を担っています。また、東京都立瑞穂農芸高校と協力し江戸東京野菜の栽培を行うなど、町の農業振興にご尽力されています。

〔企業的農業経営顕彰〕 田中 滋さん



田中氏は農業とは別の仕事をしていましたが、平成23年に父親の手伝いとして野菜の収穫をしたことから農業に興味を持ち始め、翌年就農しました。消費者に喜ばれるような野菜を意欲的に生産し、農業経営を安定的にするための工夫を行い営農されています。その一方、瑞穂町農畜産物直売所役員、西多摩農業協同組合高根町支部長、西多摩農業協同組合野菜部会会計等の役を担っています。また、指導農業士として、新規就農者等のサポートも行い次世代の農業者の育成にもご尽力されています。

〔農業後継者顕彰事業〕 中西 拓さん



中西氏は大学卒業後に一般企業に2年間勤務したのち、平成25年から農業法人に入社し農業経験を積みました。その後、令和3年2月に就農し、現在就農5年目となります。中西氏は年間を通して露地野菜を栽培し、野菜のロスを減らすため製品率を上げることを重視する営農を行っています。安定した営農を行い直売所等に野菜を出荷することで町農業の振興に寄与しています。

視察研修のご報告

令和7年2月6日から7日までの2日間で、瑞穂町農業委員会で視察研修を行いましたのでご報告いたします。



神奈川県農業技術センター
農業技術の研究・開発を行っている施設です。施設の概要やジョイント栽培など農業分野の最新技術の見学をしました。



オレンジフローラルファーム
真鶴半島に位置する農園を見学しました。レモン狩りやカフェの併設など多角的な経営手法を学びました。



道の駅ふじおやま
小山町所在の道の駅にて施設概要や経営方法の説明を受けました。町の直売所運営の参考になる部分が多く、活発な質疑応答も行われました。



足柄ふれあい公園
町民農園を備えた公園です。農園の活用方法や、公園と連携したイベントなど、農業振興に関する知見を広げました。

新しい仲間を紹介します！



令和7年3月に瑞穂町で田浦清隆さんが新規就農されました！

元狭山地区で畑を借りて営農を始めた田浦さんへインタビューを行ったので、ご紹介します！

Q. 現在の営農状況を教えてください！

A. 経営面積は約3反で今は町内の農業者の下で研修を受けながら借り受けた畑でキャベツを栽培しています。令和8年度からイチゴの栽培を計画しています。

Q. 就農した経緯や、瑞穂町を選んだ理由は何ですか？

A. 前職は農業と関係のない仕事をしていましたが、転職を考えたときに、妻と自分が好きなイチゴを作りたいと思い、就農を希望するようになりました。

東京での就農を考え、他市の農地の見学をしましたが、希望の条件が合わずにいました。その中で、瑞穂町を見学したときに立地や面積など自分が希望している農地があり、移住も含めて瑞穂町で農業をやろうと決めました。

Q. 就農して大変なことは何でしたか？

A. とにかく雑草との闘いが大変です。就農して初めて自分の農地を管理するようになりましたが、雑草の成長速度に驚いています。キャベツを育てている農地の除草もしきれないので綺麗な農地作りをしたいです。

Q. 将来やりたいことはありますか？

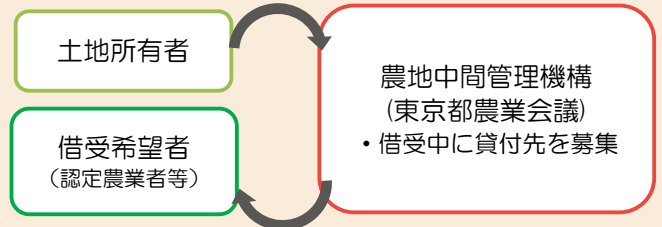
A. イチゴの栽培を開始し、摘み取り体験や対面販売など、直接お客さんの顔が見れる販売方法を充実させていきたいです。また、農園の雰囲気作りなどを含めてお客さんに楽しんでもらい、自分の農園のファンになってもらいたいです。

Q. 町内の農業者に一言！

A. 新規就農者の方も含めて瑞穂町の農家の方にはお世話になりますので、今後ともよろしくお願いします。

農地中間管理事業

農地中間管理事業は(一社)東京都農業会議が農地を借受け、その農地を規模拡大を目指す認定農業者・新規就農者の方に貸し付けることにより農地利用の集積・集約化を進める事業のことで。



期限が来れば返還

貸し付けた農地の貸借権は、貸付期限終了後消滅します。

地域計画の策定に引き続き

ご協力をお願いします

令和6年度に引き続き令和7年度も地域計画の策定を行いますので、引き続き地域座談会へ参加などご協力をお願いいたします。令和6年度では箱根ヶ崎地区と元狭山地区の一部で地域計画の策定を行いました。

令和7年度は元狭山地区(二本木町、駒形町の一部(国道16号線西側)、富士山町、栗原町)、殿ヶ谷地区、石畑地区、長岡地区の地域計画を策定いたします。今度具体的な策定スケジュールを町ホームページや広報にてお知らせいたしますのでご確認ください。

地域計画とは

地域農業が持続的に発展するため、「どこの農地で、誰が、どんな農業をするのか」といった、10年後の農地利用の在り方や、将来の地域農業の在り方を、地域で話し合い、作り上げていく、農業の未来設計図です。

全国農業新聞の購読について

週刊 / 毎週金曜日発行 購読料: 月700円

発行元: 全国農業会議所

ご希望の方は農業委員会事務局まで！

農業委員会HP

瑞穂町の農業委員会の総会議事録など、活動を紹介しています！

<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/tyosei/019/001/index.html>



農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農業者のための公的年金で、自分の納めた保険料とその運用益を原資として将来支給される「確定拠出型年金」です。老後の生活に備え、農業者年金への加入についてご家族で話し合ってみませんか。ご相談は農業委員会事務局までご連絡ください。



編集後記

現在、お米の市場価格が高騰していることが社会的な問題となっています。消費者にとって日常欠かせないお米の値段の高騰はとて気にかかる場所ではありますが、生産者にとっては諸資材の値上がりなどもあり、複雑な問題となっています。瑞穂町では稲作農家はなく、野菜を中心とした畑作が中心ですが、私たちとしても、流通価格と生産コストの問題は無関心ではられません。

さて、農業委員会では、将来の地域農業の発展のため、全国的な「地域計画の策定」作業の推進とあわせ、引き続き継続可能な農業の在り方を検討してまいります。皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

編集委員 山田 明弘 中野 高雄 古川 宗昭
田中 俊明 長谷部 冬樹